



2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月14日

上場会社名 日本サード・パーティ株式会社
 コード番号 2488 URL <http://www.jtp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2018年8月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 森 豊
 (氏名) 伊達 仁
 TEL 03-6408-2488

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	1,220	11.8	33	132.8	35	146.0	20	48.3
2018年3月期第1四半期	1,092	5.0	14	58.4	14	53.7	13	35.7

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 22百万円 (52.1%) 2018年3月期第1四半期 14百万円 (45.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	4.06	
2018年3月期第1四半期	2.74	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	2,748	1,690	61.5	332.43
2018年3月期	2,884	1,770	61.4	348.10

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 1,690百万円 2018年3月期 1,770百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		20.00	20.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		0.00		17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	5.3	180	28.5	180	30.4	100	45.8	19.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	6,015,600 株	2018年3月期	6,015,600 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	930,141 株	2018年3月期	930,141 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	5,085,459 株	2018年3月期1Q	5,085,459 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、既存事業で安定的な収益を上げ、その利益を新規事業への投資に充てることを基本方針としております。

この方針のもと当期の事業方針としては、今後の事業拡大のための「ビジネスモデルの転換」と「積極的投資」を掲げました。重点戦略としては、AI・ロボティクスを積極的に活用するデジタルトランスフォーメーション（*）分野、ライフサイエンス分野、グローバルビジネス分野における「規模（質的・面的）の拡大」を図ってまいります。

当第1四半期連結累計期間においては、デジタルトランスフォーメーション分野のサービス開発・提供及びプロモーション活動に対する投資、同分野及び既存事業におけるサービス開発・提供を行うためのエンジニア採用、育成投資並びに既存事業拡大のためのオフィスエリア拡張等への投資を行ってまいりました。また既存事業においては、前期に実施した積極的なエンジニア採用・育成投資の成果が、当期において大きく収益貢献を致しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,220,885千円（前年同期比11.8%増）、営業利益は33,282千円（同132.8%増）、経常利益は35,203千円（同146.0%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は20,691千円（同48.3%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次の通りであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更をしており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後の方法により組替えた数値で比較しております。

①教育ソリューション事業

海外メーカーやサービスベンダーが日本市場へ参入した際に、必要となるエンドユーザ向けの技術トレーニング事業を請負うほか、当社独自のICTの最先端技術トレーニングの提供と、スキルの棚卸しから不足するスキルを補う教育までのサイクルを総合的にコンサルティングする人財コンサルティングサービスを提供しております。当第1四半期連結累計期間は、前年同期と比較して一部業務が終了したことにより、売上高は162,962千円（前年同期比5.1%減）、セグメント利益は34,915千円（同34.2%増）となりました。

②ICTソリューション事業

ICTシステムの設計・構築・運用・保守サービスと、製造支援サービスを提供しております。当第1四半期連結累計期間は、業務受託量は前年同期並みに推移したことから、売上高は671,774千円（同6.4%増）、セグメント利益は128,082千円（同0.3%増）となりました。

③西日本ソリューション事業

西日本地域におけるICTシステムの運用・保守サービスとライフサイエンスサービスを提供しております。当第1四半期連結累計期間は、前年下期に積極的にエンジニアを採用したことにより、業務受託量が大幅に増加したため売上高は151,053千円（同20.5%増）、セグメント利益は23,419千円（同231.2%増）となりました。

④ライフサイエンスサービス事業

医療機器、化学分析装置などの保守サービスを提供しております。当第1四半期連結累計期間は、オフィスエリアを拡張し、さらにエンジニアを採用・育成した結果、売上は増加致しましたが、当該投資コストを補うことができず、売上高は156,811千円（同7.4%増）、セグメント利益は2,227千円（同86.6%減）となりました。

⑤その他

当第1四半期連結累計期間は、前年下期からサービスを開始した当社サービスである「Third AI（サードアイ）」がソフトバンク社より大いに評価され、「Ecosystem Partner Awards 2017」において、並みいる大手ベンダーの中から選ばれ「Best Technology Partner of the year」を受賞致しました。これにより「Third AI」の受注数が大幅に増えております。またRPA関連サービスにおいても業務受託量が拡大しており、今後見込まれるAI・RPA関連事業の受注増・ビジネス拡大に対応するためには、一層のサービス体制強化と要人体制の充実の必要があり、当期はエンジニアの採用と教育について積極的に投資を行っております。以上の結果、当第1四半期連結累計期間は売上高は78,283千円（同351.1%増）、セグメント損失は32,083千円（前年同期は41,049千円のセグメント損失）となりましたが、この分野への積極投資を他社との差別化につなげ、今後の有望な新規ビジネスセグメントとすべく取り組んでまいります。

（*）デジタルトランスフォーメーション：「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念のこと。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比し136,186千円減少し2,748,694千円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末と比し114,762千円減少し2,218,501千円となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比し21,424千円減少し530,193千円となりました。

負債合計につきましては、前連結会計年度末と比し56,483千円減少し1,058,113千円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末と比し54,032千円減少し570,048千円となりました。これは主に、未払費用、未払金の増加に対し、賞与引当金、未払法人税等の減少によるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末と比し2,451千円減少し488,064千円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比し79,702千円減少し1,690,581千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に対し、剰余金の配当によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月9日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,304,709	1,241,971
受取手形及び売掛金	888,446	848,135
商品	15,362	8,246
仕掛品	5,411	18,249
原材料及び貯蔵品	12,050	10,019
その他	120,708	100,523
貸倒引当金	△13,425	△8,642
流動資産合計	2,333,264	2,218,501
固定資産		
有形固定資産	114,213	112,117
無形固定資産	30,608	25,957
投資その他の資産		
その他	409,651	394,972
貸倒引当金	△2,855	△2,855
投資その他の資産合計	406,795	392,117
固定資産合計	551,617	530,193
資産合計	2,884,881	2,748,694
負債の部		
流動負債		
買掛金	105,656	101,844
未払法人税等	40,885	9,163
賞与引当金	176,281	84,200
役員賞与引当金	7,500	—
その他	293,757	374,839
流動負債合計	624,081	570,048
固定負債		
退職給付に係る負債	485,830	483,657
その他	4,685	4,407
固定負債合計	490,515	488,064
負債合計	1,114,596	1,058,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	795,475	795,475
資本剰余金	647,175	647,175
利益剰余金	835,471	754,453
自己株式	△478,714	△478,714
株主資本合計	1,799,407	1,718,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	62
為替換算調整勘定	△6,677	△6,928
退職給付に係る調整累計額	△22,445	△20,941
その他の包括利益累計額合計	△29,122	△27,807
純資産合計	1,770,284	1,690,581
負債純資産合計	2,884,881	2,748,694

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	1,092,050	1,220,885
売上原価	898,506	996,722
売上総利益	193,543	224,162
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	476	△4,782
給料及び賞与	48,971	55,830
賞与引当金繰入額	9,619	8,136
役員賞与引当金繰入額	900	—
退職給付費用	1,638	1,730
支払手数料	31,209	39,290
その他	86,434	90,675
販売費及び一般管理費合計	179,249	190,879
営業利益	14,294	33,282
営業外収益		
受取利息	10	10
受取出向料	—	744
為替差益	—	1,044
その他	38	136
営業外収益合計	48	1,935
営業外費用		
支払利息	26	14
為替差損	7	—
営業外費用合計	34	14
経常利益	14,308	35,203
特別利益		
関係会社清算益	726	—
特別利益合計	726	—
税金等調整前四半期純利益	15,034	35,203
法人税、住民税及び事業税	2,172	2,172
法人税等調整額	△1,089	12,340
法人税等合計	1,083	14,512
四半期純利益	13,951	20,691
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,951	20,691

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	13,951	20,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	62
為替換算調整勘定	△851	△250
退職給付に係る調整額	1,387	1,503
その他の包括利益合計	515	1,315
四半期包括利益	14,467	22,006
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,467	22,006
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。